

令和4年度

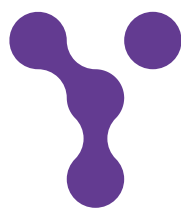
学生募集要項

(一般選抜)

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。

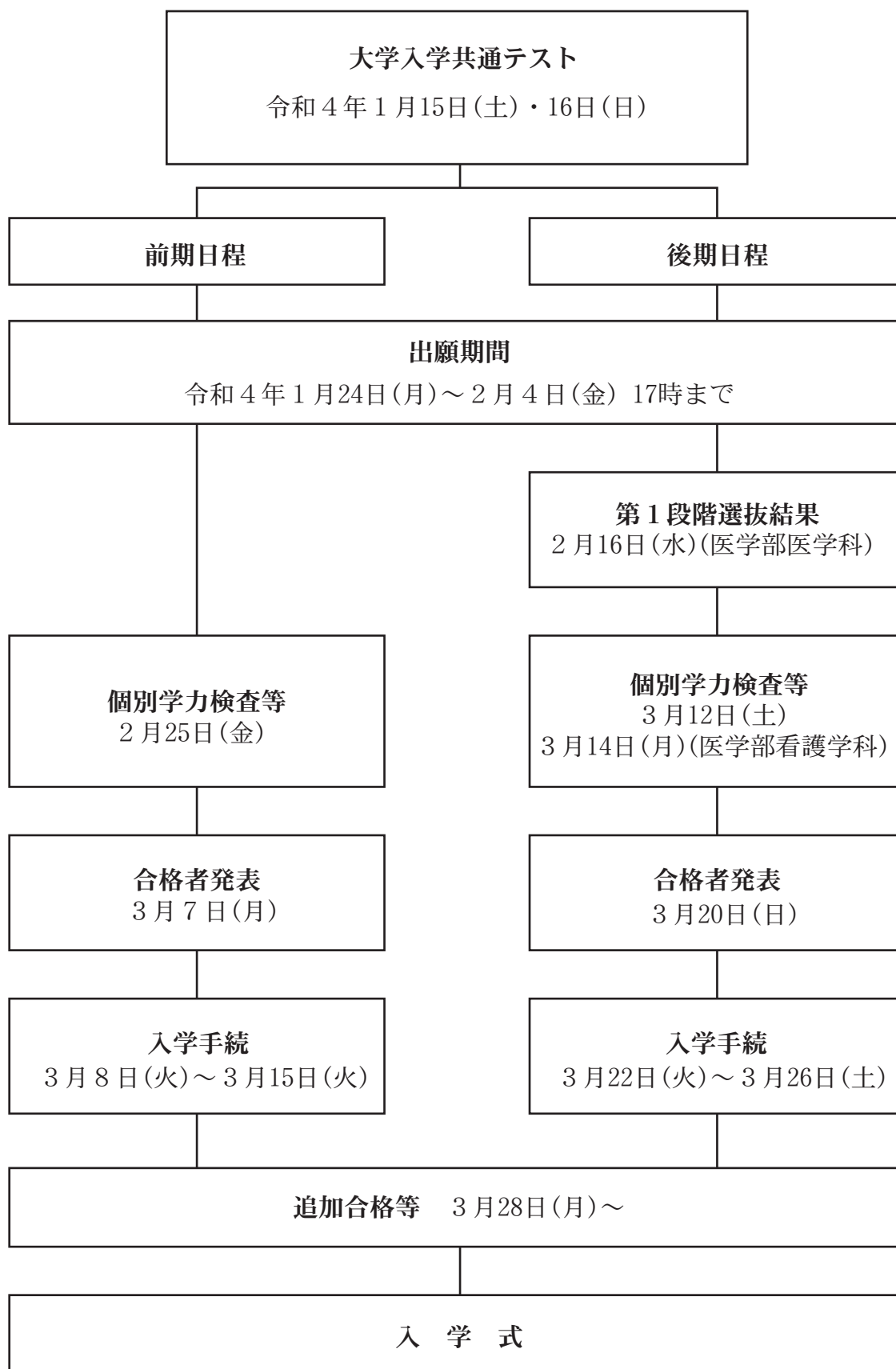


UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

【山梨大学一般選抜日程の概要】



- (1) 医学部医学科の一般選抜は、後期日程のみ実施します。
- (2) 工学部の前期日程については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。
詳細は、63ページを参照してください。
- (3) 追試験の日程等詳細については、34ページを参照してください。

目次

アドミッションポリシー	1
I 共通事項	
1 出願に当たって	17
2 募集人員	18
3 出願資格	20
4 出願手続	21
5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	24
6 入学試験における感染症対応について	25
7 受験者に対する要請事項	25
8 受験票の発送	26
9 試験場	27
10 受験上の注意	27
11 不正行為に対する措置	28
12 大学入学共通テスト受験票等	28
13 合格者の発表等	29
14 入学手続	30
15 授業料	30
16 その他の経費	30
17 追加合格等	31
18 入試情報サービス	31
19 入試情報の開示	32
20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度	33
21 個人情報の取扱いについて	34
22 その他	34
23 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について	34
II 教育学部（前期日程）	
1 選抜方法	39
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	45
III 教育学部（後期日程）	
1 選抜方法	47
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	52
IV 医学部（前期日程）	
1 選抜方法	53
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	54
3 その他	54
V 医学部（後期日程）	
1 選抜方法	55
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	57
3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要	58
4 その他	59
VI 工学部（前期日程）	
1 選抜方法	61
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	63
VII 工学部（後期日程）	
1 選抜方法	65
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	66
VIII 生命環境学部（前期日程）	
1 選抜方法	67
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	70
IX 生命環境学部（後期日程）	
1 選抜方法	71
2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等	74
山梨大学甲府キャンパス建物配置図	75
山梨大学医学部キャンパス建物配置図	76
山梨大学甲府キャンパス周辺図	77
山梨大学医学部キャンパス周辺図	78
Web 出願利用ガイド	

共通事項

教育学部
(前期日程)

教育学部
(後期日程)

医学部
(前期日程)

医学部
(後期日程)

工学部
(前期日程)

工学部
(後期日程)

生命環境学部
(前期日程)

生命環境学部
(後期日程)

(問い合わせ先)

山梨大学 教学支援部 入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

(受付時間)

平日(月～金) 8時30分～17時

(ただし、休日、祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く)

※出願に関する問い合わせは、必ず入学志願者本人が行ってください。

山梨大学の入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

本学のアドミッションポリシーは、まず、山梨大学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、**育成目標**は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。**入学者に求める資質能力・人物像**には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。**試験区分別の入学者選抜の基本方針**は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。

なお、**入学前に学習しておくことが期待される内容**も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

《理念・目的》

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

《キャッチフレーズ》

地域の中核、世界の人材

《教育目標》

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

《求める人物像》

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

《入学者に求める資質能力*》

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人、その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

【教育学部】

《理念・目的》

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

《育成目標【豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指します。

そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

《求める資質・能力・人物像》

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- ・自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

《入学前に学習しておくことが期待される内容》

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- ・国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- ・地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- ・数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- ・理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- ・外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- ・情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- ・家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- ・音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- ・美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- ・保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

《各コースの育成目標と求める能力・人物像》

○幼小発達教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、特に就学前から小学校段階の子どもの発達と教育についての深い識見を持つだけでなく、子どもとともに、また他者とともに学びながら、今日的な教育課題の解決に挑戦していける教員の養成を目指しています。心理学、教育学そして幼児教育学などに強い関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力検査では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

○障害児教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的スキルを駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。

子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力試験では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

○言語教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。

「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理

解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力検査では国語と英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは国語、地歴または公民、外国語の3教科を課し、基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

○生活社会教育コース

＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。

「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは5～6教科、個別学力検査では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

○科学教育コース

<育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。

「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。

「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員を目指す学生を求めています。

<試験区分別の入学者選抜の基本方針>

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは5教科、個別学力検査では数学と理科を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは5教科を課し、基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

○芸術身体教育コース

<育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。

「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。

「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと実技検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは6教科、実技検査は音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと実技検査、面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

実技検査は、音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

【医学部】

＜理念・目的＞

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

＜育成目標【国民の健康を支える医療人の育成】＞

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指しています。

＜求める資質・能力・人物像＞

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

○医学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

医学科では、幅広い知識と高度な技能の獲得とともに、人格の涵養にも重点を置いた教育プログラムを実施し、21世紀の医療を担う優れた医師及び医学研究者の養成を目指しています。

国民の健康を支える医学・医療に将来、携わることへの強い意志と深い関心を持ち、総合的理解力、論理的思考力、問題解決能力を備え、他者とのコミュニケーション及び自己表現に優れるとともに、自己啓発のために生涯にわたって学ぶことを継続する意欲を持つ人を求めています。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを期待します。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（後期）

本選抜では、出願書類に加え第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを判断します。最終選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに個別学力検査から総合的に行います。

なお、第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により実施し、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を実施しません。

○看護学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

看護学科は、生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職及び看護学研究者の育成を目的としています。そのため看護学科では、人間への深い関心と優れたコミュニケーション能力を備え、多様な健康問題を科学的に判断し解決できる能力を有し、保健・医療・福祉に貢献するために継続的に努力できる人を求めています。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、出願書類に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。

選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに小論文から総合的に行います。

一般選抜（後期）

本選抜では、出願書類に加え、受験者全員に面接を2回課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で、主に面接時の資料として活用します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績から総合的に行います。

【工学部】

《理念・目的》

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

《求める資質・能力・人物像》

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- ・ 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- ・ 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- ・ 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- ・ 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- ・ 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- ・ 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・ 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

○機械工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。

そのために次のような人を求めています。

- ・ 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- ・ 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- ・ 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- ・ 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また、数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○メカトロニクス工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- ・数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○電気電子工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマート

フォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人

- ・数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

<試験区分別の入学選抜の基本方針>

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○コンピュータ理工学科

<育成目標と求める能力・人物像>

コンピュータ工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- ・数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

<試験区分別の入学選抜の基本方針>

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定しま

す。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○土木環境工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、以下のような人を求めています。

- ・自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- ・防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○応用化学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計

測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- ・化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

○先端材料理工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材の育成を目指しています。そのために次のような人を求めています。

- ・物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- ・数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定しま

す。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

【生命環境学部】

《理念・目的》

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【自然と社会の共生科学の創生】》

本学の入学受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。

そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

《求める資質・能力・人物像》

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- ・自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- ・社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- ・文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- ・グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- ・実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- ・教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

○生命工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- ・論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- ・入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

＜試験区別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

○地域食物科学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学、等）を十分に理解できていること
- ・自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- ・食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- ・本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

＜試験区別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、

口頭試問も含めて評価を行います。

○環境科学科

<育成目標と求める能力・人物像>

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- ・論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- ・他者とのコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- ・環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- ・自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献したいという意欲があること

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身についていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

<試験区分別の入学選抜の基本方針>

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

○地域社会システム学科

<育成目標と求める能力・人物像>

経済・経営・行政に強い関心を持ち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- ・さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- ・科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

小論文では総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

「調査書」の記載内容を選抜資料として活用し、アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、学入学共通テストと面接を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を評価します（口頭試問を課す場合があります）。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

I 共通事項

- 1 出願に当たって
- 2 募集人員
- 3 出願資格
- 4 出願手続
- 5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談
- 6 入学試験における感染症対応について
- 7 受験者に対する要請事項
- 8 受験票の発送
- 9 試験場
- 10 受験上の注意
- 11 不正行為に対する措置
- 12 大学入学共通テスト受験票等
- 13 合格者の発表等
- 14 入学手続
- 15 授業料
- 16 その他の経費
- 17 追加合格等
- 18 入試情報サービス
- 19 入試情報の開示
- 20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度
- 21 個人情報の取扱いについて
- 22 その他
- 23 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について

1 出願に当たって

(1) 大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していない方は、本学への出願資格がありません。出願に当たって、本学が指定した大学入学共通テストの「受験を要する教科・科目」を必ず確認のうえ、出願してください。(本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。)

なお、出願を受理した後に、本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、無資格者となりますので受験できません。

(2) 本学の一般選抜は、教育学部、医学部、工学部、生命環境学部いずれも分離分割方式により実施します。なお、医学部医学科の一般選抜は、後期日程のみ実施します。

(3) 併願について

ア 入学志願者は、本学では、異なる学部間及び同じ学部内であっても、前期日程から一つ、後期日程から一つ、合計二つ出願することができます。

イ 一般選抜の併願については、前期日程－前期日程、後期日程－後期日程の併願はできません。

(4) 他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ及び総合型選抜Ⅰ・Ⅱの合格者は、本学を受験しても入学許可は得られません。ただし、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合はこの限りではありません。

※公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/>) 参照

(5) 国公立大学の前期日程試験に合格し、令和4年3月15日（火）までに入学手続を完了した方は、後期日程試験を受験しても、合格者とはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(6) 本学では、本募集要項による一般選抜のほか、教育学部においては学校推薦型選抜Ⅰ及び私費外国人留学生入試、医学部医学科においては学校推薦型選抜Ⅱ、医学部看護学科においては学校推薦型選抜Ⅰ、工学部においては総合型選抜Ⅰ・Ⅱ及び私費外国人留学生入試、生命環境学部においては総合型選抜Ⅱ及び私費外国人留学生入試を、それぞれの募集要項により行っています。

(7) 入学試験に過去問題を使用することに関して

ア 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

イ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

ウ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp>

(8) 工学部の前期日程個別学力検査については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。詳細については、63ページを参照してください。

2 募集人員

教育学部

課 程	コ ー ス	募集人員		備 考
		前期日程	後期日程	
学校教育課程	幼小発達教育コース	8人	3人	
	障害児教育コース	10人	4人	
	言語教育コース	7人	2人	
	生活社会教育コース	11人	3人	
	科学教育コース	14人	4人	
	芸術身体教育コース	6人	4人	
計		56人	20人	
		76人		

(注) 募集人員は、入学定員（120人）から学校推薦型選抜Ⅰの募集人員（44人）を除いた数です。

医学部

学 科	募集人員		備 考
	前期日程	後期日程	
医 学 科		90人	
看 護 学 科	30人	5人	
計	30人	95人	
	125人		

(注) 募集人員は、入学定員（185人）から学校推薦型選抜Ⅰ（25人）及びⅡ（35人）の募集人員（計60人）を除いた数です。

ただし、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員35人のうち20人は、文部科学省に認可申請している数です。

工学部

学 科	募集人員		備 考
	前期日程	後期日程	
機 械 工 学 科	33人	5人	「前期日程」では、個別学力検査で受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。(62ページ1(3)「第1志望学科と第2志望学科の組合せ表」参照) 「後期日程」では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。
メカトロニクス工学科	33人	5人	
電 気 電 子 工 学 科	33人	5人	
コンピュータ理工学科	30人	5人	
土 木 環 境 工 学 科	33人	5人	
応 用 化 学 科	26人	5人	
先 端 材 料 理 工 学 科	19人	5人	
計	207人	35人	
	242人		

(注) 募集人員は、入学定員(365人)から総合型選抜Ⅰの募集人員(20人)及び総合型選抜Ⅱの募集人員(103人)を除いた数です。

生命環境学部

学 科	募集人員		備 考
	前期日程	後期日程	
生 命 工 学 科	32人	5人	
地 域 食 物 学 科	30人	5人	「前期日程」では、ワイン科学特別コースを第1志望とする方は、地域食物科学科を第2志望とすることが可能です。
ワイン科学特別コース	(13人)		
環 境 科 学 科	22人	5人	
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	40人	5人	「前期日程」では、観光政策科学特別コースを第1志望とする方は、地域社会システム学科を第2志望とすることが可能です。
観光政策科学特別コース	(13人)		
計	124人	20人	
	144人		

(注) 1 募集人員は、入学定員(155人)から総合型選抜Ⅱの募集人員(11人)を除いた数です。

2 地域食物科学科ワイン科学特別コースの()内の人員は、地域食物科学科の募集人員に含まれます。

3 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの()内の人員は、地域社会システム学科の募集人員に含まれます。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、令和4年度大学入学共通テストのうち本学が指定した教科・科目を受験した方とします。なお、本学が指定する教科・科目については、前期日程（教育学部39～40ページ、医学部53ページ、工学部61ページ、生命環境学部67～68ページ）、後期日程（教育学部47～48ページ、医学部55ページ、工学部65ページ、生命環境学部71～72ページ）に記載してあります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業した方及び令和4年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び令和4年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方のうち次の各項目のいずれかに該当する方及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの方
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
 - ウ 専修学校の高等教育課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
 - エ 文部科学大臣の指定した方
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した方で、令和4年3月31日までに18歳に達している方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、令和4年3月31日までに18歳に達している方

上記（3）カにより出願する方は、事前に資格審査を受ける必要があります。

① 申請対象者

令和4年度入学者選抜においては、令和4年度大学入学共通テストを受験予定及び受験した方で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する方又は有する見込みの方

② 申請受付期間

令和4年1月17日（月）～18日（火）

③ その他

申請手続等詳細については、下記まで照会してください。

山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

E-mail:nyushi@yamanashi.ac.jp

4 出願手続

(1) 出願方法 ※詳細は「Web出願利用ガイド」を確認してください。

次のURLからアクセスし、画面の案内に従って出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

- ①利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録
- ↓
- ②入学検定料の支払い
- ↓
- ③出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料 17,000円

※前期日程と後期日程の両方に出願する場合、入学検定料はそれぞれ必要になります。

「検定料の支払い」画面で以下の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払い方法は、入金を確認されるまでに2時間程度かかる場合があります。

- ①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③金融機関ATM (Pay-easy)
 - ④ネットバンキング
- ・全ての支払方法に対して別途必要な手数料は志願者負担になります。
 - ・本学の学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ及び総合型選抜Ⅰ・Ⅱに出願し、不合格になった方、若しくは結果を待っていて不合格になった場合に備えて出願する方は、入学検定料が必要になります。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望する方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) で確認してください。

【入学検定料の返還について】

- ① 医学部医学科の第1段階選抜不合格者に対しては、入学検定料のうち13,000円を返還しません。返還に関する手続については、第1段階選抜の結果とともに通知します。
- ② 出願の受理後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した方は、入学検定料のうち13,000円を返還します。
- ③ 上記①、②の場合以外は、いかなる理由があっても、出願の受理後は既納の入学検定料は返還しません。

(3) 出願書類等

出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。

提出書類	該当提出者	摘 要
調査書 (※発行年月は問わない)	全 員	<p>①文部科学省所定の様式により作成し、これに学校長等の職印及び記載責任者の印を必ず押印のうえ厳封してください。(様式が複数枚になる場合、左上をホチキスで止めてください。)保存年限の超過や廃校・被災その他の事情により「調査書」が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位取得証明書を提出してください。成績証明書又は単位取得証明書を提出できない場合は、学校長が作成した「証明書が発行できない旨の理由書」を提出してください。</p> <p>②高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって「調査書」に代えてください。なお、高等学校等に在学したことのある方は、在学期間中の「調査書」、成績証明書、単位取得証明書又は、「証明書が発行できない旨の理由書」のいずれか1つを併せて提出してください。</p> <p>③外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国におけるGCEAレベル資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した方及び修了見込みの方は、当該試験等の成績証明書をもって「調査書」に代えてください。なお、高等学校等に在籍したことのある方は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。(必要なGCEAレベルにおける科目数・評価については、教学支援部入試課までお問い合わせください。)</p> <p>④改姓により証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。</p>
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	全 員	<p>Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙】に、大学入試センター発行の『令和4共通テスト成績請求票』を貼付してください。</p> <p>前期日程入学志願者……………「<u>前</u>・国公立前期日程用」 後期日程入学志願者……………「<u>後</u>・国公立後期日程用」</p>
多面的・総合的な評価のための申告書	(前期・後期)教育学部 (後期のみ)医学部看護学科 工学部 生命環境学部	<p>本学ホームページから本学所定の「多面的・総合的な評価のための申告書(様式1)」をダウンロードし、作成してください。</p>

郵便切手貼付用紙 (受験票等送付用)	全 員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、354 円分の郵便切手（速達料含む）を剥がれないように貼付してください。 ※切手料金は過不足なく用意してください。
住 民 票	国籍が日本 国以外の方	住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。
指 定 した 楽 譜	教育学部学 校教育課程 芸術身体教 育コースの 音楽実技を 選択する者	本要項 42 ページ（前期日程）、49 ページ（後期日程）の表 1「実技検査の内容・注意事項」を参照してください。 ※楽譜の左上に、氏名を明記すること。
活 動 実 績 報 告 書 ・ 活 動 実 績 報 告 書 証 明 書 類（表紙）	教育学部学 校教育課程 芸術身体教 育コースの 体育実技を 選択する者	「活動実績報告書・活動実績報告書証明書類（表紙）（様式 2）の作成要領」に基づき、本学所定の様式により作成してください。【活動実績報告書証明書類（表紙）】には、【活動実績報告書】に記載した内容を証明する書類を添付してください。 作成要領及び様式は、本学ホームページ*からダウンロードしてください。
履 歴 書	医 学 部 者 志 願 者	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。 ※記載事項の有無に関わらず、提出すること。

※様式 1 及び 2 は、出願期間前から次の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>学部入試>募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>

【留意事項】

- ①登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。
- ②出願の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容の変更は認めません。また、出願書類の返却及び内容変更も認めません。
- ③登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ④Web 出願サイトの登録において、「志願者連絡先」には、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会・通知等を確実に受信できる住所及び電話番号を登録してください。なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。（氏名・受験番号・志望学科等・変更した内容を明記したものを郵送してください。）

(4) 出願期間

令和 4 年 1 月 24 日(月)～ 2 月 4 日(金) 17 時まで **【期間内必着】**

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも出願期間中に完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(5) 出願書類の提出方法

- ① Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から『出願書類等チェックリスト』（提出不要）を印刷し、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。
- ② Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した『封筒貼付票』を各自で用意した角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼付してください。
- ③ 郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するよう郵送してください。郵送では間に合わない場合に限り、令和4年2月4日（金）9時から17時の間（12時から13時の間を除く）に教学支援部入試課窓口を持参してください【時間厳守】。

(6) 出願書類の郵送先・持参先

山梨大学教学支援部入試課（75ページ 甲府キャンパス建物配置図参照）
〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

(1) 相談の方法

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に連絡の上、学長あての相談申請書（次の①～⑤の事項を記載したもの（書式は任意））及び⑥、⑦を添付し、令和4年1月5日（水）までに提出してください。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験室の設定等において準備や配慮が必要となる場合がありますので、事前相談が必要です。相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談申請書を提出してください。

なお、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 試験日程、志望学部、学科、課程・コース、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 出身学校等でとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先（現住所、電話番号等）
- ⑥ 医師の診断書等、病気やけが、障がい等の状況がわかる文書又はそのコピー
- ⑦ 大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」がある方はそのコピー

(2) 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

事前相談の期限以降に、不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に連絡してください。

(3) 連絡先：山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

※受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は、必ず申し出てください。

※申請後に本学へ出願しないこととなった場合又は出願後に受験を取り止めた場合には、必ず連絡してください。

6 入学試験における感染症対応について

本学では入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。（試験当日までに、「7 受験者に対する要請事項」を熟読してください。）

ただし、令和4年度入試においては、新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験を実施しますので、詳細は「23 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について」を確認してください。

7 受験者に対する要請事項

① 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

（参考）受験生のみなさんへ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～



https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf

② 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者は、あらかじめ医療機関で受診してください。

③ 受験できない方

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験を認めます（別室受験となります）。

- 1) 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（結果が判明するまでは本試験を受験できませんので、その場合は追試験の受験を申請してください）
- 2) 受験当日も無症状であること
- 3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること

※海外から日本に入国して受験する場合、受験者は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後の待機期間中は受験できません。

④ 受験の取り止め

試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験者は、本学が指定する期限までに追試験受験の申請手続きを行い、当初予定していた本試験ではなく追試験を受験してください。

⑤ 試験当日における対応

発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を

取り止め、その日のうちに追試験受験の申請手続きを行い、追試験を受験してください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

なお、症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では昼食時以外は常に正しく着用（鼻と口の両方を確実に覆う）してください（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、別室受験となります。「5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談」に基づき、事前に教学支援部入試課へ連絡してください。）。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触・会話を極力控えてください。

⑥ 試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、暖かい上着などを持参してください。また、試験会場の食堂（大学会館、厚生会館）は営業しませんので、昼食は持参し、自席で食事をとってください。食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。

⑦ 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。

⑧ 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

⑨ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けられるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望まれます（地域独自のQRコード等による追跡システムがある場合は、その利用も望まれます。）。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意してください。

※ 新型コロナウイルス感染症予防の観点から受験者以外の方は入構できません。（保護者等の控室も設置しません。）

8 受験票の発送

受験票は、2月14日（月）頃に発送予定です。（医学科を除く。（医学科についてはP29を参照））2月18日（金）までに届かない場合は、教学支援部入試課に照会してください。

9 試験場

試験場	実施学部・学科等
山梨大学甲府キャンパス	教育学部、工学部及び生命環境学部前期日程、後期日程、 医学部医学科後期日程
東京試験場 (アットビジネスセンター東京駅八重洲通り)	工学部前期日程
名古屋試験場 (愛知大学名古屋キャンパス)	
山梨大学医学部キャンパス	医学部看護学科前期日程、後期日程

(注) 工学部前期日程のみ東京試験場及び名古屋試験場を設けます。(詳細は63ページ参照)

ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、東京試験場及び名古屋試験場での実施を中止することがあります。その場合は本学ホームページにてお知らせしますので、随時確認してください。

10 受験上の注意

- (1) 個別学力検査等において、本学が指定した教科・科目を指示どおり受験しなかった方は、選抜の対象となりません。
- (2) 試験前日の14時から16時までの間に試験場を下見することができます。なお、下見は本学の場合は各試験室棟入口、東京試験場(工学部前期日程)及び名古屋試験場(工学部前期日程)の場合は建物入口までとします。いずれの試験場も試験室棟内の下見は認めません。
- (3) 試験当日は、受験者以外(保護者、学校関係者等)の入構を禁止します。
- (4) 遅刻した場合は、各教科等とも試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時刻は変更しません。
- (5) 受験の際は、「本学の受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を机の上に置いてください。机の上には、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)以外の所持品を置いてはいけません。
- (6) 「本学の受験票」、「大学入学共通テスト受験票」を紛失又は忘れた場合は、試験当日、入学試験事務室又は係員に申し出てください。
- (7) アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ず設定を解除してください。
- (8) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。
- (9) 試験日程どおりの実施が困難になるような不測の事態(地震や火災、悪天候等)が発生した場合、本学ホームページに対応措置等を掲載します。



山梨大学ホームページ

<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/11370>

11 不正行為に対する措置

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (1) Web登録情報、提出書類、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の顔写真画像を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
- (4) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
- (5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- (6) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること
- (7) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること
- (8) 試験時間中に、使用を許可されたもの以外の補助具を使用すること
- (9) 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- (10) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や使用を許可されたもの以外の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- (11) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること
- (12) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- (13) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- (14) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- (15) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

12 大学入学共通テスト受験票等

試験当日は、本学の受験票のほか、大学入試センター発行の大学入学共通テスト受験票を必ず持参してください。なお、大学入学共通テスト受験票は、入学手続の際にも必要となりますので、紛失しないよう十分注意してください。

「大学入学共通テスト成績請求票」の再発行を受けた場合は、再発行した成績請求票を使用しないと無効になるので注意してください。

13 合格者の発表等

(1) 第1段階選抜結果の通知

医学部医学科（後期日程）

令和4年2月16日（水）以降速やかに、合格者には本学受験票を、不合格者には不合格通知書を速達郵便により通知します。また、合格者の教科別及び総点の最高点、最低点、平均点、標準偏差を本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載します。

※ホームページへの合格者の受験番号の掲載はありません。

なお、電話等による合否の照会には応じられませんが、2月21日（月）までに通知が到着しない場合は、2月22日（火）に教学支援部入試課に照会してください。

また、入学志願者が募集人員の10倍を超えなかった場合は、「第1段階選抜は実施しない」旨を本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載し、入学志願者全員に本学受験票を発送します。

(2) 合格者の発表

日程	学 部	日 時	場 所
前期日程	教育学部 工学部 生命環境学部	令和4年3月7日(月) 16時頃	甲府西キャンパス掲示板 (保健管理センター西側)
	医学部(看護学科)		医学部キャンパス 看護学科教育研究棟玄関前
後期日程	教育学部 工学部 生命環境学部	令和4年3月20日(日) 16時頃	甲府西キャンパス掲示板 (保健管理センター西側)
	医学部		医学部キャンパス 講義棟玄関前(医学科) 看護学科教育研究棟玄関前(看護学科)

合格者の受験番号を上記の場所に掲示するとともに、本学ホームページにも掲載します。(電話等による合否や受験番号の照会には応じられません。)

合格者には、合格発表日以降に合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。



山梨大学合格発表専用ページ

<https://www.nyushi.yamanashi.ac.jp/index.html>

(3) その他

本学の合格通知等に使用する氏名は、原則として大学入学共通テスト受験票に記載された氏名を使用します。

(注) 山梨大学では、合否電報の受け付けは、一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありませんので、これに関するトラブル等が発生した場合、本学では責任を負いません。

14 入学手続

(1) 入学手続期間

入試日程	入学手続期間
前期日程	令和4年3月8日(火)～3月15日(火)
後期日程	令和4年3月22日(火)～3月26日(土)

【留意事項】

- ① 入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。
- ② 合格者が1つの国公立大学・学部に入入学手続をしたときは、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続をすることはできません。ただし、「後期日程」の合格者で入学手続を完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合格者となった場合は、この限りではありません。
- ③ 指定された入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものと取り扱います。
- ④ 入学手続には、大学入学共通テスト受験票及び本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。
- ⑤ 入学手続後の入学辞退については、「入学手続案内」を確認し、必ず期日までに手続をするようにしてください。

(2) 入学料

282,000円（予定）

- ・入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・入学料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
- ・「後期日程」の合格者で「前期日程」の追試験を受験した場合、入学料の徴収を猶予しますので、入学手続の際は、入学料を納入しないでください。

15 授業料

前期分 267,900円 [年額 535,800円]（予定）

- ・入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。
- ・授業料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

16 その他の経費

(1) 「学生保険」保険料

授業中や課外活動等、学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習・臨床実習等での不慮の事故等により賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としています。本学で取り扱っている「学生保険」は各種あります。保険の種類及び加入方法につきましては、それぞれ保険料を含め、別途案内します。

(2) その他

上記保険料のほかに後援会費、同窓会費及び学友会費等を含めて、教育学部 計64,000円（4年間分）、工学部 計50,000円（4年間分）、生命環境学部 計48,000円（4年間分）、後援会費及び学生会費等を含めて、医学部医学科 計110,000円（6年間分）、医学部看護学科 計66,600円（4年間分）程度の経費が必要です。（教材費等は含みません。）

なお、これらの経費については変更することがあります。

17 追加合格等

合格者の入学辞退等により、入学定員に欠員が生じた場合は、原則として、追加合格により欠員補充を行います。また、第2次募集により欠員補充を行うこともあります。

実施する場合は、令和4年3月28日（月）以降に本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）で発表します。

(1) 追加合格

① 候補者への連絡

出願登録時の「志願者連絡先」へ電話により通知します。

なお、電話での応答は必ず入学志願者本人が行ってください。

② 実施期間

令和4年3月28日（月）～3月31日（木）

③ 入学手続期間

令和4年3月28日（月）～3月31日（木）（電話により個別に入学手続日を指定します。）

④ 入学手続場所

教学支援部入試課窓口（郵送による手続は受け付けません。）

⑤ 入学手続に必要なもの

大学入学共通テスト受験票、本学受験票、顔写真（縦4cm×横3cm）、入学料（現金のみ）

※入学料・授業料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、入学手続の際にその旨をお知らせください。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員補充第2次募集に出願できる方は、「前期日程」「後期日程」の追試験合格者発表がなされた時点でいずれの国公立大学にも合格していない方、及び同時点で国公立大学に合格していたが、当該第2次募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない方で、大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目等を受験した方に限ります。

なお、欠員補充第2次募集に出願できるのは、一つの大学・学部であり、出願後に他の国公立大学へ入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られません。

18 入試情報サービス

各学部の出願状況について、令和4年1月25日（火）から2月7日（月）まで本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）で、情報提供いたします（休日祝日を除く）。

19 入試情報の開示

令和4年度一般選抜（前期日程・後期日程）について、次のとおり開示します。

なお、試験成績開示は、不合格者本人の請求により本人のみに開示するものであって、請求者が本人以外の場合には開示しません。

（1）入学試験実施状況として開示される情報

①正解、解答例、出題意図

各科目の正解、解答例、出題意図のいずれかを開示します。

②合格者の成績

合格者の成績の最高点、最低点、平均点を本学ホームページで公表します。

ただし、選考単位当たりの合格者が10人以下の場合を除きます。

（2）不合格者本人の請求に対して開示される個人情報

試験成績を不合格者本人のみに開示します。

①成績開示内容

・教育学部

出願したコースの合格者最低点からの得点差を5段階（20点刻み）に区分して開示します。面接・実技の評価については開示しません。

・医学部

医学科においては、第1段階選抜総得点及び順位、最終選抜大学入学共通テスト得点、個別学力検査得点及びランク（以下の表による区分）を開示します。面接の評価については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の方
B	” 20.1～40.0点不足の方
C	” 40.1～60.0点不足の方
D	” 60.1点以上不足の方
E	面接の評価が合格基準に達しない方

看護学科においては、前期・後期日程について、大学入学共通テスト得点及びランク（以下の表による区分）を開示します。個別学力検査等（小論文又は面接）の得点については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の方
B	” 20.1～40.0点不足の方
C	” 40.1～60.0点不足の方
D	” 60.1点以上不足の方
E	小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない方

・工学部

大学入学共通テスト及び個別学力検査等それぞれの総得点を開示します。
ただし、後期日程の面接の評価については開示しません。

・生命環境学部

前期日程について、大学入学共通テスト及び個別学力検査等それぞれの総得点及び以下の区分によるランクを開示します。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の方
B	” 20.1～40.0点不足の方
C	” 40.1～60.0点不足の方
D	” 60.1点以上不足の方

後期日程について、大学入学共通テストの総得点及び以下の区分によるランクを開示します。面接の評価については開示しません。

ランク区分	範 囲
A	合格最低点から～20.0点不足の方
B	” 20.1～40.0点不足の方
C	” 40.1～60.0点不足の方
D	” 60.1点以上不足の方
E	面接の評価が合格に達しない方

②試験成績開示請求方法等

- ・請求方法：不合格者本人が所定の用紙（本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）に掲載）に必要事項を記入の上、本学の受験票、返信用封筒（本人の住所・氏名を明記の上、簡易書留郵便として404円分の切手を貼付した長形3号封筒）を必ず同封し、大学あて封筒の表には、試験成績開示請求と朱書の上、申し込んでください。本学受験票を紛失した場合は、身分を証明するもの（運転免許証・健康保険証等の写し）を添付してください。
- ・請求期間：令和4年5月6日（金）～5月31日（火）まで（期間内消印有効）
- ・請求先：山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

20 山梨大学大村智記念基金奨学金制度

本学では、山梨大学大村智記念基金奨学金により、学生の学業を奨励しています。詳細は、大学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/3944>）を参照してください。

概要は以下のとおりです。

対象者：一般選抜（前期日程）受験者で、本学が認める特に優れた成績で合格し、入学した方（医学部医学科、生命環境学部を除く）

選考：入学試験の成績を総合的に判断

※医学部医学科と生命環境学部は、在学途中での成績等による選考

給付額：30万円

21 個人情報情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善等に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

なお、上記業務での利用に当たり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

※個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行われないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

22 その他

【各キャンパスについて】

本学は、甲府キャンパス（教育学部、工学部、生命環境学部）と医学部キャンパス（医学科・看護学科）があり、両キャンパス間は約10km離れています。

医学部1年次生は、主として甲府キャンパスにおいて全学共通教育科目等を受講しますが、週2日程度は医学部キャンパスにおいて専門科目を受講します。2年次生からは医学部キャンパスにおいて専門科目を中心に受講することとなります。住居の選定に当たっては、このことを十分考慮してください。

23 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について

新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する受験機会の確保への配慮として、令和3年度に実施する「令和4年度入学者選抜」において、特例措置として追試験を行います。

※本項目に記載した事項以外については、本試験を受験した場合と同様です。

(1) 対象者

追試験の対象者は、以下の①又は②の理由により本試験を受験しなかった方のうち、本学が指定する期限までに必要書類を添えて申請し、追試験の受験が許可された方とします。なお、本試験開始後の発病等については、追試験の対象とはしません。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、本試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療

養中の方又は本試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方、もしくは、海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の方*

※発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者は、「7 受験者に対する要請事項」の③に記載した条件を全て満たす場合は、本試験を受験することができます（別室受験となります）。受験を希望する場合は、事前に教学支援部入試課まで電話し、本試験前日の午前10時までに入試課へ「濃厚接触者本試験受験申請書」（様式は本学ホームページからダウンロード）を提出してください。ただし、工学部志願者のうち、東京試験場及び名古屋試験場受験者については、この場合の試験場は山梨大学（甲府キャンパス）となります。

② 発熱・咳等の症状があり、本試験当日の自己検温で37.5度以上の熱があり、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

(2) 追試験申請期限及び方法

上記追試験対象者は、前期日程は2月25日（金）正午まで、後期日程は3月12日（土）（看護学科は3月14日（月））正午までに下記電話番号に連絡した上で、前期日程は2月25日（金）17時まで、後期日程は3月12日（土）（看護学科は3月14日（月））17時までに本学所定の「追試験受験申請書」（様式は本学ホームページからダウンロード）及び「診断書（治療期間が明記されたもの）」、「受験票の写し」を、代理人による持参、郵送、FAX又はメールにより提出してください【期限内必着】。本学において、提出書類の内容を確認の上、結果を送付します。

※必ず事前に下記電話番号に連絡してから申請してください

※診断書を試験当日までに提出することが困難な場合は、本試験翌日の9時～12時の間に提出してください。

※診断書をFAX又はメールで提出した方は、原本を追試験の前日までに必ず提出してください。

【提出先】

教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37
 電話：055-220-8046 FAX：055-220-8795
 Email：nyushi@yamanashi.ac.jp

(3) 選抜の期日

令和4年3月22日（火）

※工学部（前期・後期）、生命環境学部（後期）は来学する必要はありません。

(4) 実施方法等

【前期日程】(追試験)

教育学部	実施方法	<p>大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査等の各結果及び「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書・活動実績報告書証明書類」(芸術身体教育コースの体育実技を選択する志願者のみ)の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。</p> <p>ただし、個別学力検査においては、筆記試験は実施せず、大学入学共通テストの該当教科の得点を換算することとする。また、集団面接ではなく面接を実施する。さらに、芸術身体教育コースでは、実技検査を本試験と同様に実施する。</p>
	時間割	<p>面接(芸術身体教育コース以外) 9時10分～17時00分(集合時間8時40分)</p> <p>実技検査・面接(芸術身体教育コース) 9時10分～17時00分(集合時間8時40分)</p>
	試験場	山梨大学(甲府キャンパス)
医学部 (看護学科)	実施方法	<p>大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査等(面接、小論文)の各結果及び「調査書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。</p>
	時間割	<p>小論文：9時00分～10時30分 面接：11時30分～17時00分 ※試験開始30分前までに集合し、適宜、試験室周辺に待機してください。 ※面接の終了時刻は受験者数により変更になる場合があります。</p>
	試験場	山梨大学(医学部キャンパス)
工学部	実施方法	<p>大学入学共通テストの結果及び「調査書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。</p>
生命環境学部	実施方法	<p>大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査(小論文)の各結果及び「調査書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。</p>
	時間割	小論文：9時30分～11時00分(90分)
	試験場	山梨大学(甲府キャンパス)

【後期日程】（追試験）

教育学部	実施方法	大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査等（面接、実技検査（芸術身体教育コースのみ））の各結果及び「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書・活動実績報告書証明書類」（芸術身体教育コースの体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。
	時間割	面接（芸術身体教育コース以外） 9時10分～17時00分（集合時間8時40分） 実技検査・面接（芸術身体教育コース） 9時10分～17時00分（集合時間8時40分）
	試験場	山梨大学（甲府キャンパス）
医学部	実施方法	医学科：大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査等（面接）の各結果及び「調査書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。 看護学科：大学入学共通テスト、本学が行う個別学力検査等（面接（2回））の各結果及び「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。
	時間割	医学科：面接（集団）15時30分～18時15分 ※面接（個人）15時45分～19時頃 看護学科：面接（個人（2回））9時00分～17時00分 ※試験開始30分前までに集合し、適宜、集合場所周辺に待機してください。 ※面接の終了時刻は受験者数により変更になる場合があります。 ※面接員が必要と認めた場合は集団面接後に個人面接を行います。
	試験場	医学科：山梨大学（医学部キャンパス） 看護学科：山梨大学（医学部キャンパス）
工学部	実施方法	大学入学共通テストの結果及び「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。
生命環境学部	実施方法	大学入学共通テストの結果及び「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を総合して判定し、合格者を決定する。

(5) 合格者の発表

学部	日時	場所
教育学部 工学部 生命環境学部	令和4年3月26日（土） 16時頃	甲府キャンパス掲示板 （保健管理センター西側）
医学部		医学部キャンパス 講義棟玄関前（医学科） 看護学科教育研究棟玄関前 （看護学科）

(6) 入学手続

令和4年3月26日（土）～30日（水）

※3月30日までに入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものと取り扱います。

(7) 留意事項

- ① 追試験は、新型コロナウイルス感染症の罹患等やむを得ず受験できなかった受験者に対する受験機会確保のための措置であることから、必ずしも追試験受験者から合格者を出すというものではありません。また、虚偽の申請が認められた場合は、入学後であっても、入学を取り消すことがあります。
- ② 前期日程試験に合格し、3月15日（火）までに入学手続を行った方は、「後期日程」の追試験を受験しても入学許可は得られません。

Ⅱ 教育学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

課程・コース	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公 民	1	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 (注) 3と4を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	
学校教育課程 生活社会教育コース	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 公 民	1又は2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目又は2科目選択 (注) 2と5を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	1又は2又は3	a 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 b 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択 (注) 3～6を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

学校教育課程 科学教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 公民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択（注）2を参照	<input type="checkbox"/>
	数学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理科	2又は3	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択（注）3と6を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。

2 地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

3 「物理・化学・生物・地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

4 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎」と「物理・化学・生物・地学」の両方を受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。

5 生活社会教育コースにおける科目選択は、以下のいずれかです。

a 地理歴史、公民から2科目並びに理科aを選択

b 地理歴史、公民から1科目並びに理科bを選択

a、bの組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。

6 生活社会教育コースと科学教育コースにおいては、同一科目名を含む理科2科目（例えば、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、など）の選択を認めます。

7 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

課程・コース		出題教科等	出題科目等	摘要
学校 教育 課程	幼小発達教育コース	外国語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	◎
			集 団 面 接	◎
	障害児教育コース	外国語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	◎
			集 団 面 接	◎
	言語教育コース	国 語	国語総合・国語表現・現代文A・ 現代文B・古典A・古典B	◎
		外国語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	◎
			集 団 面 接	◎
	生活社会教育コース	外国語	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	◎
			集 団 面 接	◎
	科学教育コース	数 学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B	◎
理 科			物理基礎・物理	○
		集 団 面 接	化学基礎・化学	○
集 団 面 接			生物基礎・生物	○
	芸術身体教育コース	実 技	◎	表1を参照(P42~43)
集 団 面 接			◎	

(注) 1 出題科目等欄の◎印は必須科目を示します。○印は選択科目を示し、出願時に選択してください。

- 2 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 3 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
- 4 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
- 5 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
- 6 生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

表1 実技検査の内容・注意事項
(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

課程・コース	実 技 検 査 の 内 容 ・ 注 意 事 項
学校教育課程 芸術身体教育コース	<p>以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。</p> <p>音楽実技を選択する方 下記のI、IIを受験すること。 I 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。 A 旋律聴音 1題（12～16小節） B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C コンコーネ50番 No.28～No.48より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。 D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。（暗譜すること。繰り返しは省略すること。） （注）IIの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは不要</p> <p>II 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲、又は声楽曲を1曲演奏すること。 1 ピアノで受験の場合 出願時に演奏曲の楽譜（左上に「ピアノ」と明記）を同封すること。 2 声楽で受験の場合 ① 原語で演奏すること。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に「声楽」と明記）を同封すること。 3 ピアノ以外の楽器で受験の場合 ① 電子オルガン（YAMAHA ELS-01C バイタライズユニット Ver.up済み）以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（左上に曲名及び楽器名を明記）を同封すること。 ③ 伴奏は無しとする。 （注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p>美術実技を選択する方 造形表現力の検査 （形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。） （注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。 2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>

体育実技を選択する方		
内 容	服 装	用 具
次の全ての領域についての基礎的運動技能を検査する。 (1) 器械運動 (2) 陸上競技 (3) 球技 (4) 武道 (5) ダンス	1 通常の運動着を用意すること。 (更衣室の利用可) 2 運動用シューズは、グラウンド用と体育館用の両方を用意すること。	それぞれの領域の検査に必要な用具は大学側で用意する。
(注) 1 「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」に必要事項を記入の上、出願書類とともに提出すること。 2 グラウンド種目は、悪天候等の場合には室内で実施可能な方法で行う場合がある。 3 実技検査を開始する前に医師が行うメディカル・チェックにおいて、実技の実施に健康上の問題があると判断された場合は、実技検査に関して指示を行う場合がある。		

(3) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

課程・コース		区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	実技	合計	総合計
学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100			600	1,000
		個別学力検査等						200	200		400	
	障害児教育コース	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100			600	1,000
		個別学力検査等						100	300		400	
	言語教育コース	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100			600	1,200
		個別学力検査等	200					200	200		600	
	生活社会教育コース	大学入学共通テスト	100	(200) (100)		100	(100) (200)	100			600	1,000
		個別学力検査等						200	200		400	
	科学教育コース	大学入学共通テスト	100	100		150	150	100			600	1,200
		個別学力検査等				200	200		200		600	
	芸術身体教育コース	大学入学共通テスト	150	50	50	100	100	150			600	1,200
		個別学力検査等							200	400	600	

- (注) 1 地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 2 「物理・化学・生物・地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 科学教育コース以外のコースにおいては、「物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎」と「物理・化学・生物・地学」の両方を大学入学共通テストで受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 4 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)のそれぞれの得点を200点満点として合算し、上の表に示した配点を満点とした得点に換算します。
- 5 生活社会教育コースにおける地理歴史及び公民欄の()の上段は2科目受験した場合、下段は1科目受験した場合、それぞれの配点を示します。また生活社会教育コースにおける理科欄の()の上段は、理科aを選択し受験した場合、下段は理科bを選択し受験した場合、それぞれの配点を示します(理科aとbの選択区分に関しては39ページの当該コース当該科目の欄を参照)。
- 6 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の詳細については、39~40ページを参照してください。

(4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

課程・コース		区分	採点・評価基準の内容
学校 教育 課程	幼小発達教育コース	集団面接	コースの教育活動に対する理解、及び入学後の教育研究に対する意欲や適性を総合的に評価します。
	障害児教育コース		障害児教育に対する意欲や自己表現力・他者理解力等の各観点から総合的に評価します。
	言語教育コース		コースの教育活動に対する理解、及び入学後の教育研究に対する意欲や適性を総合的に評価します。
	生活社会教育コース		
	科学教育コース		
	芸術身体教育コース		
芸術身体教育コース	実技検査	音楽実技を選択する方 共通課題及び選択課題を通して、入学後の学習に必要な技能や表現力などを総合的に評価します。	
		美術実技を選択する方 造形表現力として形態、色彩、構成力などに関して総合的に評価します。	
		体育実技を選択する方 全ての出題領域の基礎的な運動技能を評価します。	

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

出願したコースにより、試験・検査の開始時間が異なりますので、注意してください。

月 日	課程・コース	時間及び教科			試験場	
		1 時限目	2 時限目	3 時限目		
		9時30分～ 11時00分 (90分)	11時55分～ 13時25分 (90分)	14時30分～ 17時30分頃		
2月25日 (金)	学校 教育 課程	幼小発達教育コース		外国語	山梨大学 (甲府キャンパス)	
		障害児教育コース		外国語		
		言語教育コース	国語	外国語		集団面接
		生活社会教育コース		外国語		
		科学教育コース	理科	数学		
		芸術身体教育コース	実技検査・集団面接			

- (注) 1 1時限目、2時限目に受験する方は、それぞれ試験開始30分前までに各試験室に集合してください。3時限目の集団面接では、開始10分前までに控室に集合してください。
- 2 1時限目の受験者は、1時限目終了時まで退出できません。(監督者の指示に従いトイレに行くことは可能です。)
- 3 実技検査及び集団面接の終了時刻は、受験者の数によって変わり、集団面接の終了時刻は17時30分を過ぎることもあります。

Ⅲ 教育学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

課程・コース	教科名	科目数	科目の指定	志願者確認欄
学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 芸術身体教育コース	国語	3又は4 (注)5を参照	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴		「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学		『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科		「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 (注)3と4を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>		
学校教育課程 言語教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴・公民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の10科目のうちから1科目選択 (注)2を参照	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
学校教育課程 生活社会教育コース	国語	4～7 (注)6を参照	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴		「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の10科目のうちから1科目又は2科目選択 (注)2参照	<input type="checkbox"/>
	公民			
	数 学		『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科		a 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 b 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択 (注)4～7を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>		

学校教育課程 科学教育コース	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴 公民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択 (注) 2を参照	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 3	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目、並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択 又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択 (注) 3と7を参照	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

- (注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。
- 2 地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 「物理・化学・生物・地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 4 科学教育コース以外のコースにおいては、「物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎」と「物理・化学・生物・地学」の両方を受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 5 幼小発達教育コース、障害児教育コース、及び芸術身体教育コースにおいては、6教科のうちから地理歴史及び公民を含まない3教科を選択、又は、地理歴史及び公民を含む4教科を選択してください。(本学で指定した組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。)
- 6 生活社会教育コースにおける科目選択は、以下のいずれかです。
- a 国語、数学、外国語の3教科
 - b 国語、数学、外国語から2教科並びに地理歴史、公民から2科目
 - c 国語、数学、外国語から2教科並びに地理歴史、公民から1科目並びに理科a
 - d 国語、数学、外国語から2教科並びに理科b
 - e 国語、数学、外国語から1教科並びに地理歴史、公民から2科目並びに理科b
- a～eの組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。
- 7 生活社会教育コースと科学教育コースにおいては、同一科目名を含む理科2科目(例えば、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、など)の選択を認めます。
- 8 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

課程・コース		出題教科・科目等	摘 要
学校教育課程	幼小発達教育コース	面 接	
	障害児教育コース	面 接	
	言語教育コース	面 接	
	生活社会教育コース	面 接	
	科学教育コース	面 接	
	芸術身体教育コース	実技検査・面 接	表1を参照(P49～50)

表1 実技検査の内容・注意事項

(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

課程・コース	実技検査の内容・注意事項
学校教育課程 芸術身体教育コース	<p>以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。</p> <p>音楽実技を選択する方 下記のI、IIを受験すること。 I 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。 A 旋律聴音 1題（12～16小節） B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C コンコーネ50番 No.28～No.48より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。 D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。（暗譜すること。繰り返しは省略すること。） (注) IIの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは不要</p> <p>II 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲、又は声楽曲を1曲演奏すること。 1 ピアノで受験の場合 出願時に演奏曲の楽譜（左上に「ピアノ」と明記）を同封すること。 2 声楽で受験の場合 ① 原語で演奏すること。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に「声楽」と明記）を同封すること。 3 ピアノ以外の楽器で受験の場合 ① 電子オルガン（YAMAHA ELS-01C バイタライズユニット Ver.up済み）以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（左上に曲名及び楽器名を明記）を同封すること。 ③ 伴奏は無しとする。 (注) 1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p>美術実技を選択する方 造形表現力の検査 (形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。) (注) 1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。 2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>

体育実技を選択する方		
内 容	服 装	用 具
次の全ての領域についての基礎的運動技能を検査する。 (1) 器械運動 (2) 陸上競技 (3) 球技 (4) 武道 (5) ダンス	1 通常の運動着を用意すること。 (更衣室の利用可) 2 運動用シューズは、グラウンド用と体育館用の両方を用意すること。	それぞれの領域の検査に必要な用具は大学側で用意する。
(注) 1 「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」に必要事項を記入の上、出願書類とともに提出すること。 2 グラウンド種目は、悪天候等の場合には室内で実施可能な方法で行う場合がある。 3 実技検査を開始する前に医師が行うメディカル・チェックにおいて、実技の実施に健康上の問題があると判断された場合は、実技検査に関して指示を行う場合がある。		

(3) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

課程・コース	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	実技	合計	総合計	
学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース	大学入学共通テスト	(200)	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)			600	1,000
		個別学力検査等							400		400	
	障害児教育コース	大学入学共通テスト	(200)	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)			600	800
		個別学力検査等							200		200	
	言語教育コース	大学入学共通テスト	200	200				200			600	800
		個別学力検査等							200		200	
	生活社会教育コース	大学入学共通テスト	(200)	(200)	(100)	(200)	(100)	(200)			600	800
		個別学力検査等							200		200	
	科学教育コース	大学入学共通テスト	100	100		300	300	100			900	1,100
		個別学力検査等							200		200	
	芸術身体教育コース	大学入学共通テスト	(200)	(100)	(100)	(200)	(200)	(200)			600	1,200
		個別学力検査等							200	400	600	

(注) 1 () は、選択受験教科の配点を示します。

2 地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

3 「物理・化学・生物・地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

4 科学教育コース以外のコースにおいて、「物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎」と「物理・化学・生物・地学」の両方を受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。

5 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)のそれぞれの得点(200点満点)を合算し、上の表に示した配点を満点とした得点に換算します。

6 幼小発達教育コース、障害児教育コース、芸術身体教育コースにおいては、本学で指定した受験科目の組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。

7 生活社会教育コースにおける地理歴史及び公民欄の()の上段は2科目受験した場合、下段は1科目受験した場合の配点を示します。また生活社会教育コースにおける理科欄の()の上段は理科aを選択し受験した場合、下段は理科bを選択し受験した場合の配点を示します(理科aとbの選択区分に関しては47ページの当該コース当該科目の欄を参照)。

8 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の詳細については、47~48ページを参照してください。

(4) 面接及び実技検査における採点・評価基準

課程・コース	区分	採点・評価基準の内容
学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース 芸術身体教育コース	面接	志望動機、目的意識、応答の的確性、論理性、表現力、人間や文化・教育に対する関心の高さ等を総合的に評価します。
	実技検査	音楽実技を選択する方 共通課題及び選択課題を通して、入学後の学習に必要な技能や表現力などを総合的に評価します。
		美術実技を選択する方 造形表現力として形態、色彩、構成力などに関して総合的に評価します。
		体育実技を選択する方 全ての出題領域の基礎的な運動技能を評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	検査の区分	課程・コース	時 間	試験場
3月12日 (土)	面接	学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース	9時10分～17時00分 (集合時間8時40分)	山梨大学(甲府キャンパス)
	実技面接	学校教育課程 芸術身体教育コース	9時10分～17時00分 (集合時間8時40分)	

- (注) 1 各コースとも受験番号にかかわらず、午前から午後にわたり検査が行われることがありますので昼食や飲み物を持参するようにしてください。
- 2 実技検査は、芸術身体教育コースについてのみ行い、実技検査、面接の順で行います。
なお、芸術身体教育コースの体育実技を選択する方の実技及び面接の終了時刻は、17時を過ぎることもあります。

IV 医学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 小論文、面接における採点・評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

3 その他

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
看護学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 1	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択、又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>

- (注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。
 2 外国語『英語』には、リスニングが含まれます。
 3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目等	摘 要
看護学科	小論文・面接	個人面接を行います。

(3) 配 点

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	合計	総合計
看護学科	大学入学共通テスト	200	100		200	100	200			800	1,200
	個別学力検査等							*200	*200	400	

- (注) 1 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 2 大学入学共通テストの「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 3 大学入学共通テストの「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、『理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点』又は『理科の「基礎を付していない科目」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績とします。
- 4 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リスニングの成績も利用します。英語の配点は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点満点となります。
- 5 ※印は、小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

（4）小論文、面接における採点・評価基準

学 科	区 分	採点・評価基準の内容
看護学科	小論文	事象の観察力、問題発見の能力、バランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力、情操、創造性、適応性などをみます。 また、人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい適性をみます。
	面 接	

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	検査の区分	時 間	試験場
2月25日 (金)	看護学科	小論文	9時00分～10時30分	山梨大学 (医学部キャンパス)
		面 接	11時30分～17時00分	

・試験開始30分前までに集合し、適宜、試験室周辺に待機してください。

(注) 志願者が多数の場合は、終了時刻が17時を過ぎることがあります。

3 その他

入学手続をした場合、入学当初から休学することは、原則として認められません。

V 医学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 第1段階選抜
- (3) 個別学力検査等
 - ① 個別学力検査等実施教科・科目等
 - ② 配点

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要

4 その他

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」（看護学科はこれに加え「多面的・総合的な評価のための申告書」）の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
医 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 公 民	1	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>
看護学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』	<input type="checkbox"/>
			『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2又は 1	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4科目のうちから2科目選択、又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。

2 外国語『英語』には、リスニングが含まれます。

3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 第1段階選抜

医学部医学科においては、大学入学共通テストの成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入学共通テストの配点は下記のとおりとし、調査書は総合判定の資料とします。

国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
200	100		200	200	200	900

※大学入学共通テストの成績の利用については、56～57ページ「②配点」の(注)1、4のとおりとします。

(3) 個別学力検査等

医学部医学科においては、第1段階選抜の合格者に対して、医学部看護学科においては、入学志願者全員に学力検査等を実施します。

① 個別学力検査等実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目等			摘 要
医 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・数学A・ 数学B	必須	3つの科目群のうちから2つ選択 (出願時に選択してください。)
	理 科	物理基礎・物理	選択	
		化学基礎・化学	選択	
		生物基礎・生物	選択	
	面 接	必須		
看護学科	面 接	必須	個人面接を2回行います。	

- (注) 1 数学及び理科の試験では、単に高等学校で学んだ知識や計算力をみるのではなく、観察力、理解力、思考力、理論的構想力、表現力などもみます。
- 2 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 3 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
- 4 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
- 5 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
- 6 生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

② 配 点

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
医 学 科	大学入学共通テスト	200	100		100	100	600		1,100	2,300
	個別学力検査等				600	600		※1	1,200	
看護学科	大学入学共通テスト	200	100		200	100	200		800	1,200
	個別学力検査等							400 (個人) ※2	400	

- (注) 1 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 2 大学入学共通テストの「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 3 大学入学共通テストの「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、『理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点』又は『理科の「基礎を付していない科目」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績とします。
- 4 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リスニングの成績も利用します。利用にあたっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点200点満点を、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 5 ※1は、人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性などを総合的に評価します。なお、面接の評価が合格に達しない方は、大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の成績に関わらず、不合格となります。
- 6 ※2は、人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性などを総合的に評価します。なお、面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。また、面接は個人面接を2回行います。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	検査の区分	時 間	摘 要	試験場
3月12日 (土)	医 学 科	数 学	9時00分～11時00分		山梨大学 (甲府キャンパス)
		理 科	12時30分～14時30分		
		面接(集団)	15時30分～18時15分		
		※面接(個人)	15時45分～19時頃		
3月14日 (月)	看護学科	面 接 (個人)	9時00分～18時00分	各受験者の面接は、午前の部と午後の部のいずれかで行います。	山梨大学 (医学部キャンパス)

- ・試験開始30分前までに集合し、適宜、試験室周辺に待機してください。
 - ・面接の終了時刻は、受験者数により変更になる場合があります。
- ※面接員が必要と認めた場合は、集団面接後に個人面接を行います。

3 山梨県医師修学資金貸与制度の概要

本制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。

貸与を受けた医学生が、医師免許取得後、(3) に示す返還免除要件を満たした場合、修学資金及び当該修学資金に付された年10%の利息（以下「修学資金等」という。）の返還が免除されます。

(1) 対象

山梨大学医学部医学科入学者

(2) 貸与額

① 第一種 月額 50,000円

② 第二種 月額 130,000円（学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）入学者が優先されます。）

(3) 返還免除について

次の条件を満たした場合、修学資金等の返還は全額免除になります。満たさない場合は、修学資金等全額を一括返還となります。

（共通）卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。

医師免許取得後、山梨県内の病院（山梨県のホームページを参照。）が実施する2年間の初期臨床研修を修了すること。

① 第一種 医師免許取得後、6年の期間内に、3年間山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること。（3年間の義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること。）

② 第二種 医師免許取得後、給付期間の2分の5の期間内に、給付期間の2分の3の期間（6年間貸与を受けた場合、15年の期間内に9年間）山梨県地域医療支援センター^(注1)で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等における医師の業務に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修（専門研修^(注2)を受ける場合は、山梨県内の病院が実施する臨床研修及び専門研修）を修了すること。）

（注1）：山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に県内の医師確保を支援するため、山梨大学医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

（注2）：知事が指定する病院はキャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間（4年程度）県内の医師不足地域において医師として従事する必要があります。

※ 推薦入試（地域枠）入学者については、医師修学資金貸与制度第二種の貸与を受け、医師修学資金貸与制度の規定及びキャリア形成プログラムに基づき一定期間、必ず山梨県内の医療機関において医師の業務に従事しなければなりません。また、山梨県医師修学資金等を一括返済しても、山梨県内で医師として業務に従事する期間は短縮されません。

※詳細は山梨県のホームページで確認願います。

<https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html>

(4) 照会先

山梨県福祉保健部医務課医療企画担当

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 電話：055-223-1480

(5) 申込先

〈甲府キャンパス〉

山梨大学教学支援部学生支援課奨学支援グループ

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8053・8054

〈医学部キャンパス〉

山梨大学医学域学務課学生グループ

〒409-3898 中央市下河東1110 電話：055-273-9346

4 その他

- (1) 入学手続をした場合、入学当初から休学することは、原則として認められません。
- (2) 医学科においては、臨床実習開始前と臨床実習終了後に、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）による医療系大学間共用試験を受験します。
受験には、下記の経費が必要となります。
 - ・共用試験（CBT及び臨床実習前OSCE（Pre-CC OSCE））25,000円（1回につき）
 - ・共用試験（臨床実習後OSCE（Post-CC OSCE））20,000円（1回につき）
（令和2年度時点）

VI 工 学 部 (前期日程)

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査実施教科・科目等
- (3) 第1志望学科と第2志望学科の組合せ表
- (4) 配点

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査の各成績、出身学校長から提出される「調査書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 土木環境工学科 応 用 化 学 科 先端材料理工学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公 民			<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

(注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。

2 外国語『英語』には、リスニングが含まれます。

3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	出 題 科	出題科目群	摘 要
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	物理基礎・物理	必須
コンピュータ理工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	選択 2つの科目群「物理基礎・物理」または「化学基礎・化学」のうちから1つ選択（出願時に選択してください。）
応 用 化 学 科	数 学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	必須
	理 科	化学基礎・化学	必須

(注) 1 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。

2 数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

- 3 物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
- 4 化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
- 5 個別学力検査の「理科」で、「物理基礎・物理」を受験する方は、機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科の間で、また、「化学基礎・化学」を受験する方は、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。(下表参照)

(3) 第1志望学科と第2志望学科の組合せ表

第1志望学科	個別学力検査「理科」の受験科目	第2志望とできる学科 (第1志望学科を除く)
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電 気 電 子 工 学 科	物理基礎・物理	機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	物理基礎・物理	機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科
	化学基礎・化学	コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科
応 用 化 学 科	化学基礎・化学	コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科

(4) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計	総合計
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電 気 電 子 工 学 科 コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100		200	200	200	900	1,300
	個 別 学 力 検 査				250	150		400	

(注) 1 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

- 2 大学入学共通テストにおける英語のリスニングの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングを160点満点に、リスニングを40点満点に換算します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	教科・科目群		時 間	試 験 場		
2月25日 (金)	理 科		9時30分～11時00分 (90分)	山梨大学 (甲府キャンパス)	東京 試験場	名古屋 試験場
	数学	数学Ⅰ・数学A・ 数学Ⅱ・数学B・ 数学Ⅲ	12時25分～14時25分 (120分)			

◎ 東京試験場：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り（JR東京駅「八重洲口」より徒歩15分）
中央区八丁堀1-9-8 八重洲通りハタビル5、6階

◎ 名古屋試験場：愛知大学名古屋キャンパス（JR名古屋駅「桜通口」より徒歩15分
あおなみ線ささしまライブ駅より徒歩3分）
名古屋市中村区平池町4-60-6

- (注) 1 工学部「前期日程」のみ東京試験場及び名古屋試験場を設けます。収容数に限りがありますのでWeb出願登録完了時に先着順にて受付し、収容数を超えた場合は、甲府キャンパスでの受験となります。試験場の決定は、Web出願サイトのマイページ及び、受験票に記載します。東京試験場及び名古屋試験場での受験者には、案内図等をあわせて送付します。
- 2 東京試験場のアットビジネスセンター東京駅八重洲通り及び名古屋試験場の愛知大学は、本学が試験場として借用しているだけですので、入試に関する照会はできません。照会の際は、山梨大学教学支援部入試課に連絡してください。
- 3 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、東京試験場及び名古屋試験場での実施を中止することがあります。その場合は本学ホームページでお知らせしますので随時確認してください。
- 4 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。受験する試験場は、受験希望試験場と異なる場合がありますので、受験票を必ず確認してください。
- 5 試験開始30分前までに来場し、適宜、試験室周辺で待機してください。

VII 工学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接における評価

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 土木環境工学科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	数 学	2	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

(注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。

2 外国語『英語』には、リスニングが含まれます。

3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。

4 全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目等
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 土木環境工学科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	面 接

(3) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
機 械 工 学 科 メカトロニクス工学科 電 気 電 子 工 学 科 コンピュータ理工学科 土 木 環 境 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100		300	300	200		1,100	1,100
	個 別 学 力 検 査 等							(注) 3		

- (注) 1 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 2 大学入学共通テストにおける英語のリスニングの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングを160点満点に、リスニングを40点満点に換算します。
- 3 面接は、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験者の中から、大学入学共通テストの成績に基づき合格者を決定します。

(4) 面接における評価

学 部	評価の内容
工 学 部	工学及び志望学科の専門分野に関する関心の高さ、学ぶ意欲、応答の論理性、表現的的確さ、チャレンジ精神等を評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	集合時刻	検査の区分	時 間	試 験 場
3月12日 (土)	9時	面 接	9時10分～17時00分	山梨大学 (甲府キャンパス)

VIII 生命環境学部（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) その他

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
生 命 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
地 域 食 物 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
環 境 学 科 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

地域社会システム学科 (観光政策科学特別コースを含む)	国語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地歴	2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	
	理科		3教科から2科目選択 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、基礎を付した科目から1科目又は2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」であり、2科目で1科目とみなす	
	数学	2	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。

- 2 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングで構成されます。
- 3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。
- 4 地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目	摘 要
生命工学科 地域食物科学科 (ワイン科学特別コースを含む) 環境科学科 地域社会システム学科 (観光政策科学特別コースを含む)	小論文	前期日程における個別学力検査等の小論文試験では、総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

(3) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	総合計
生 命 工 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	50		300	250	200		1,000	1,200
	個別学力検査等							200	200	
地 域 食 物 科 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	100	100		300	300	200		1,000	1,100
	個別学力検査等							100	100	
環 境 科 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100		200	200	200		900	1,100
	個別学力検査等							200	200	
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (観光政策科学特別コースを含む)	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	[100]	[100]	200	[100 又は 200]	200		800	1,000
	個別学力検査等							200	200	

- (注) 1 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、
「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をそ
の成績とします。
- 2 [] は、選択科目の配点を示します。大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「理科」
から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、
「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目の
うち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
- 3 大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングの成績も利用しま
す。各学科のリーディング(100点満点)、リスニング(100点満点)の配点比率は次の
とおりです。生命工学科では、それぞれのテストの得点を利用します。それ以外の学科
では、リーディングを150点満点に、リスニングを50点満点に換算します。なお、外
国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。

(4) その他

- 1 地域食物科学科ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科を第2志望とすることが可能です。
- 2 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科を第2志望とすることが可能です。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

月 日	学 科	検査の区分	時 間	試 験 場
2月25日 (木)	生 命 工 学 科	小論文	9時30分～11時00分 (90分)	山梨大学 (甲府キャンパス)
	地 域 食 物 学 科 (ワイン科学特別コースを含む)			
	環 境 科 学 科			
	地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (観光政策科学特別コースを含む)			

※試験開始の30分前までに各試験室に集合してください。

Ⅸ 生命環境学部（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- (2) 個別学力検査等実施教科・科目等
- (3) 配点
- (4) 面接における評価基準

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の各成績、出身学校長から提出される「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」の内容を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学 科	教科名	科目数	科 目 の 指 定	志願者 確認欄
生 命 工 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『情報関係基礎』の3科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
地 域 食 物 科 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」の3科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
環 境 科 学 科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴 ----- 公 民	1	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の10科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	数 学	2	「数学I」、『数学I・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学II」、『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>

	理 科	2	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目のうちから2科目選択	<input type="checkbox"/>
	外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
地域社会システム学科	国 語	1	『国語』	<input type="checkbox"/>
	地 歴	2	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」の6科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
	公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』の4科目のうちから1科目選択	
	理 科		「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、基礎を付した科目から1科目又は2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」であり、2科目で1科目とみなす	
	数 学	2	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』の2科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
			「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の4科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>
外国語	1	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』の5科目のうちから1科目選択	<input type="checkbox"/>	

- (注) 1 「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上で設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表します。
- 2 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングで構成されます。
- 3 本学が指定した教科・科目を一つでも受験していない場合は、受験できません。
- 4 地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。

(2) 個別学力検査等実施教科・科目等

学 科	出題教科・科目
生 命 工 学 科	面 接
地 域 食 物 科 学 科	
環 境 科 学 科	
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	

(3) 配 点

大学入学共通テストと個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 科	区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	総合計
生 命 工 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	50		300	300	250		1,100	1,100
	個 別 学 力 検 査 等							※		
地 域 食 物 科 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	100	100		400	400	200		1,200	1,200
	個 別 学 力 検 査 等							※		
環 境 科 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	100		200	200	200		900	900
	個 別 学 力 検 査 等							※		
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	[100]	[100]	200	$\left[\frac{100}{2} \right]$ 又は $\left[\frac{200}{2} \right]$	200		800	800
	個 別 学 力 検 査 等							※		

- (注) 1 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、
「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をそ
の成績とします。
- 2 [] は、選択科目の配点を示します。大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「理科」
から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、
「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目の
うち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
- 3 大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングの成績も利用しま
す。各学科のリーディング（100点満点）、リスニング（100点満点）の配点比率は次の
とおりです。生命工学科では、それぞれのテストの得点を利用します。それ以外の学科
では、リーディングを150点満点に、リスニングを50点満点に換算します。なお、外
国語の得点は、上記表中の配点に従い換算した点数を利用します。
- 4 ※印については、面接試験及び大学入学共通テストの成績により選考します。

(4) 面接における評価基準

学 科	評 価 基 準 の 内 容
生 命 工 学 科	生物や化学への興味の強さ、目的意識や問題解決能力、論理性、試問に対する応答や表現の明確さ等を総合的に評価します。
地 域 食 物 科 学 科	農業や食品産業への興味の強さ、目的意識、論理性、適性等を総合的に評価します。
環 境 科 学 科	環境と人間社会の関係を総合的に学ぶための目的意識、および適性、ならびに基礎知識、応答の的確性、論理性、表現力を評価します。
地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	志望動機、目的意識、応答の的確性、論理性、表現力を総合的に評価します。

2 選抜の期日・試験場及び検査時間割等

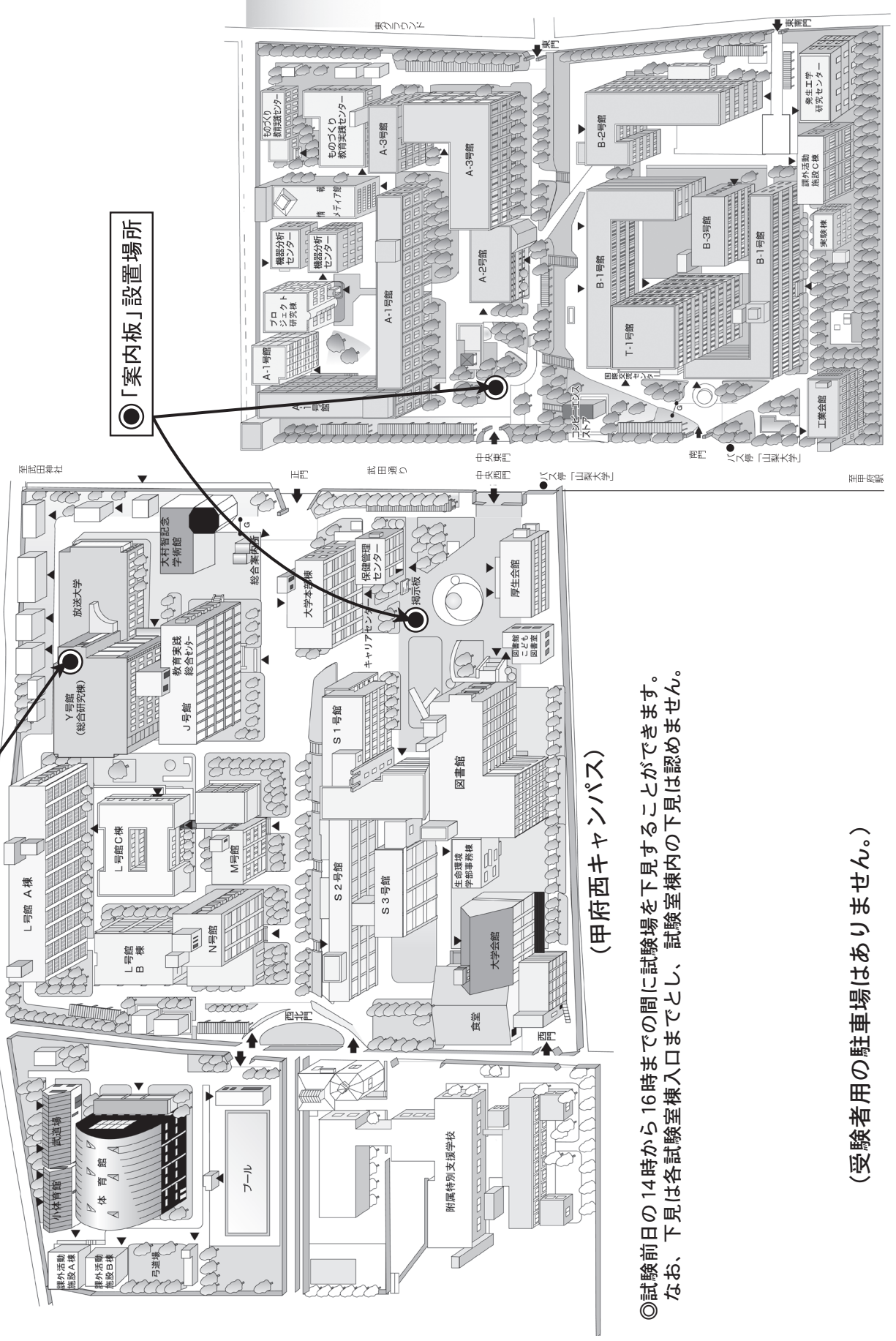
月 日	集合時刻	検査の区分	時 間	試 験 場
3月12日 (土)	9時	面 接	9時10分～17時00分	山梨大学 (甲府キャンパス)

集合場所に入室後は、トイレの利用等やむを得ないと認められる場合を除き、試験終了後まで室外に出ることはできません。そのため、各自、昼食と飲み物を持参してください。

また、試験進行の状況により終了時刻は前後します。

山梨大学甲府キャンパス建物配置図

出願書類持参窓口 入試課(総合研究棟 2階)
 持参受付日:令和4年2月4日(金)9時~17時(12時~13時を除く)
 ※郵送では間に合わない場合があります。



◎試験前日の14時から16時までの間に試験場を下見することができます。
 なお、下見は各試験室棟入口までとし、試験室棟内の下見は認めません。

(受験者の駐車場はありません。)

(甲府東キャンパス)

山梨大学医学部キャンパス建物配置図

(看護学科試験場)



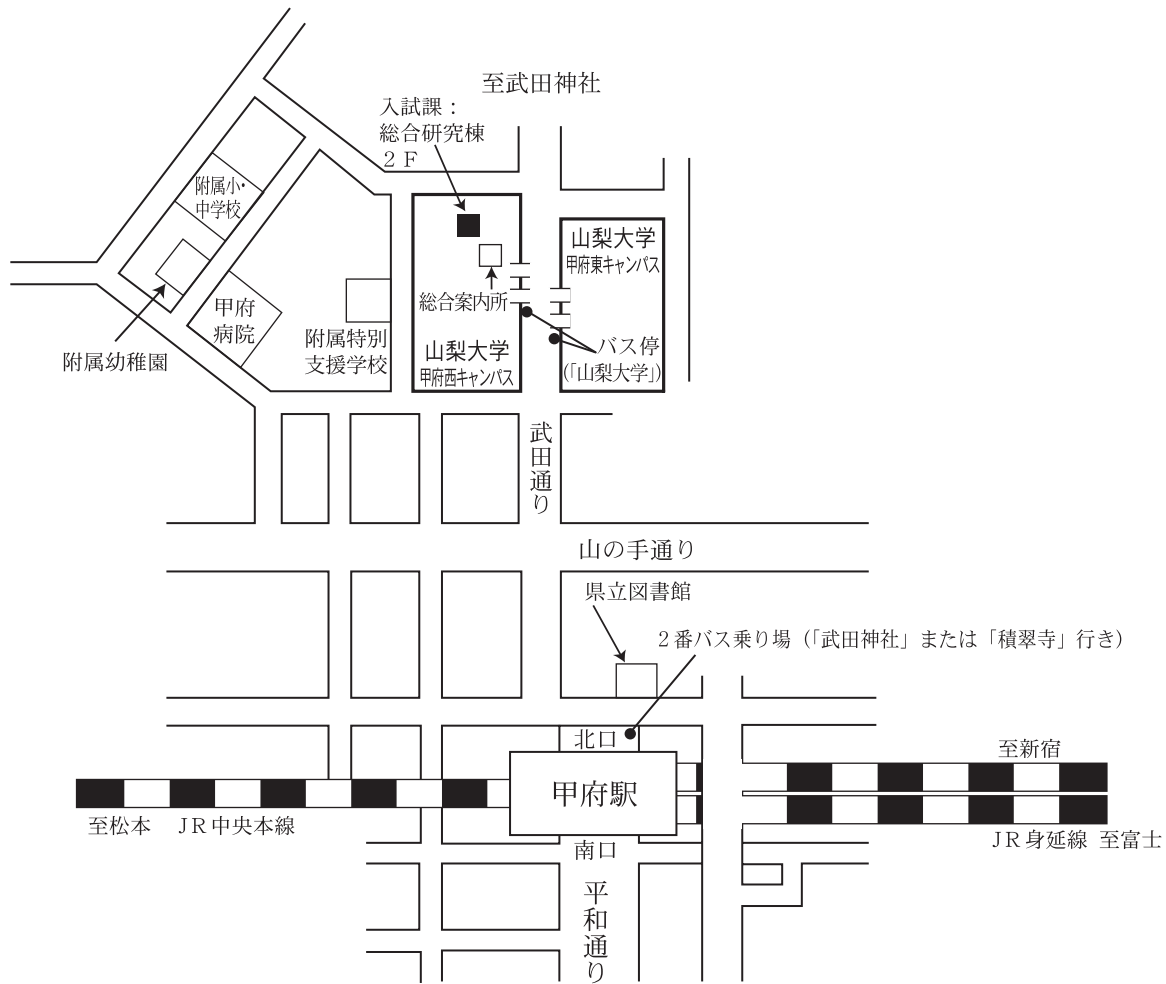
◎試験前日の14時から16時までの間に試験場を下見することができます。
 なお、下見は各試験室棟入口までとし、試験室棟内の下見は認めません。

(受験者の駐車場はありません。)

山梨大学甲府キャンパス周辺図

J R 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分

J R 甲府駅下車、北口からバスで約 5 分（「武田神社」又は「積翠寺」行き） バス停「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
また、送迎等で近隣の店舗を利用することや、無断駐車をすることは迷惑行為になりますのでお止めください。

山梨大学医学部キャンパス周辺図



山梨大学医学部

〔〒409-3898 山梨県中央市下河東1110〕

(甲府方面から)

○JR利用

甲府駅から身延線上に乗車。(所要時間約20分)
常永駅下車、徒歩約15分。

○バス利用

甲府駅南口バスターミナル3番のりばから
「山梨大学医学部附属病院」行きに乗車、
「山梨大学医学部附属病院」にて下車。
(所要時間約30分)

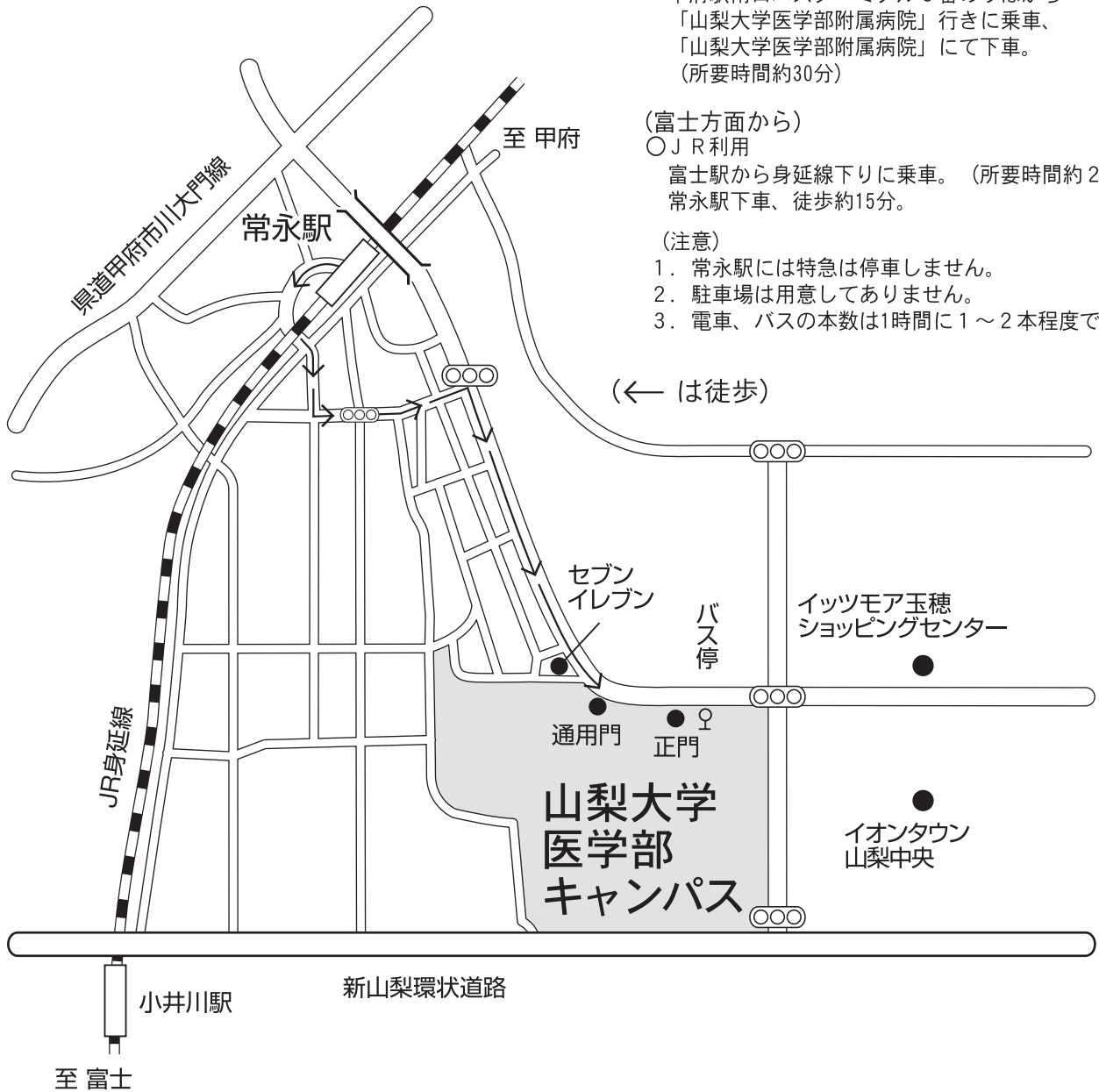
(富士方面から)

○JR利用

富士駅から身延線下りに乗車。(所要時間約2時間)
常永駅下車、徒歩約15分。

(注意)

1. 常永駅には特急は停車しません。
2. 駐車場は用意してありません。
3. 電車、バスの本数は1時間に1～2本程度です。



Web出願利用ガイド

出願期間内に、「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「提出が必要な出願書類の提出」の全てが完了している必要があります。いずれか1つでも出願期間中に完了していない場合は、出願を受理することができませんのでご注意ください。

STEP 1

Web出願の事前準備

①インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態でアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態でアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「調査書」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身高校等に申請手続をしてください。「活動実績報告書」などの様式は出願期間前から本学ホームページ上からダウンロードが可能です。

⑤市販の角形2号封筒・郵便切手

封筒は出願書類の送付に必要です。郵便切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。
※郵便切手の代金は入試区分によって異なりますので、各募集要項を確認してください。

⑥顔写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3(縦800ピクセル×横600ピクセル推奨)、JPEG形式の写真を用意してください。



【適切な顔写真の例】

STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、30分以内に本文に記載されているURLから次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※出願期間中のみ登録できます。

画面の案内に従って出願情報(入試区分、志望学部・学科、顔写真など)を登録してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①コンビニエンスストア、②金融機関ATM(Pay-easy)、③ネットバンキング、④クレジットカードのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払い方法は入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。用意しておいた封筒に「封筒貼付票」を貼り、「出願書類等チェックリスト」を確認しながら書類を入れ、山梨大学入試課に提出してください。



出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

山梨大学入試課 Web出願に関する問い合わせ
☎055-220-8046 ✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システムの改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。